仕　様　書

1. 品　　名　　Ge 半導体検出器用遮蔽体の購入

2. 数　　量　　1 式

3. 使用目的　　HIMAC 棟において、測定試料から放出されるγ線を測定するために低バックグラウンドの測定環境を達成するために用いる。

4. 納入時期　　平成 24 年 8 月 24 日（金）

5. 納入場所　　千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1　放射線医学総合研究所
HIMAC 棟 MB2　実験制御計数室

6. 仕様

1. 放射線医学総合研究所が所有する Ge 半導体検出器（型番：キャンベラ社製 GW2022）に使用することを前提とする。遮蔽体の構造は以下の通りであること。
・測定試料の設置、取り出しが容易に行えること。
・床面荷重が 1000kg/m^2 以下であること。必要に応じて荷重分散ベースを使用すること。その際、分散ベースの大きさは、120cm×120cm 以下であること。
・内寸：直径 270 mm×高さ 400mm 以上
・遮蔽体：鉛（厚さ 100mm 相当以上）
・内貼り：錫 1mm、銅 1.6mm、塩ビ相当以上
・鋳込型であること。
・遮蔽体分散用鉄板と遮蔽体を固定し、必要であれば鉄板と床の固定を行うこと。
2. ・バックグラウンド: 担当者が指定する検出器について、人工放射性核種のピークが 168 時間測定したバックグラウンドスペクトルから検出されないこと「測定中」表示器を備えること（測定中は「測定中」と表示し、停止中は「停止中」と表示すること。）
3. U8 容器、2 リットルマリネリ容器を測定するため、遮蔽体内部に設置可能なアクリル製治具を作成すること。また、別図に示すように測定試料を支持するアクリル製の測定試料設置用治具を作成すること。詳細については、担当者と協議の上決定すること。

7. 保証期間　　納入より 1 年間は、障害等に対する無償保証を行うこととする。

8. 提出資料　　取扱説明書（構造図を添付すること）　　2 部

9. 検査　　納入完了後、当研究職員が、所定の能権を満たしていることを確認したことを持って検査合格とする。

10. その他

1. 指定の場所に本装置を据え付け後、調整を行い支障なく利用できるようにすること。
2. 上記について、疑義が生じた場合には当研究所の担当者と協議の上決定すること。
3. 設置作業及び設置場所の詳細について、当研究所の担当者の指示に従うこと。

部 課 （ 室 ） 名　　重粒子医科学センター　物理工学部
使 用 者 氏 名　　米内　俊祐

別図：測定試料設置用治具の概要図